

# 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号 3
	令和 4年11月22日
	午前・午後11時20分

議会名	令和 4 年 第 6 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	22番	田所良夫
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ <input type="checkbox"/> モニター使用)		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 「進化する佐野市」「選ばれる佐野市」について  (1) 「進化する佐野市」「選ばれる佐野市」の将来像について  (2) 首都機能のバックアップ体制について	① 「進化する佐野市」「選ばれる佐野市」をまちづくりの基本理念とする市長が施政方針に掲げた5つの政策テーマのうち、5つ目の政策テーマ「産業」では、佐野市に挑戦する産業を作り出すための「国際防災拠点」の創設、企業誘致や、中核企業が本社機能を移転できる環境の整備にスピード感を持って取り組みたいとのことですが、どのような将来像を想定しているのかお聞きします。  ② 現在、本市では20代の若者の転出率が一番高いが、本市の推進テーマは「定住促進」であります。「進化する佐野市」「選ばれる佐野市」が実現した場合、本市の20年後、30年後の20代若者の人口動態をどのように想定しているのかお聞きします。  ① 令和4年10月7日参議院本会議において岸田総理より、「災害等への備えとして、首都中枢機能の継続性を確保するためにバックアップ体制の		

<p>(3) 出流原PA周辺総合物流開発整備「100ha 開発」について</p>	<p>整備等を推進すること、これは極めて重要であり、また、人口及び諸機能の分散を図ることは地方分権改革の推進にも資するものであると認識しております。」との答弁がありました。そこで、本市の立場から首都機能のバックアップ体制の整備に対する見解をお聞きします。</p> <p>② 国際防災拠点の創設及び防災関連企業の誘致に関連して、国土強靱化計画の一翼を担う首都直下型地震に対応する防災拠点を創設することについて見解をお聞きします。</p> <p>③ 都市部では、ミサイル着弾による爆風等からの直接の被害を軽減するための対策として、地下鉄駅を含む地下網を緊急一時避難施設に指定しました。そうでない地方においては、地下シェルターが必要と考えますが、国際防災拠点にその設置をすることについて見解をお聞きします。</p> <p>④ 元東京都知事談話として、有事の際に既存格納庫が機能不全になる可能性があるため、近隣地域にヘリポートとヘリコプターの格納庫が欲しいとのことでした。ヘリポートとヘリコプターの格納庫の誘致を研究・検討することについて見解をお聞きします。</p> <p>①令和3年度決算審査要望書において「出流原スマートインターチェンジの開通により佐野インランドポートはもとより、出流原PA周辺開発のインフラ整備が整い、かねてからの構想である出流原PA周辺総合物流開発整備事業の国際防災拠点の創設及び防災関連企業の誘致を加速化し、高質な雇用の創出に向けて取り組んでいただきたい。」と要望しました。この要望をどのように感じ受け止め対応していこうと考えているのかお聞きします。</p>
--	--

<p>(4) 出流原PA周辺総合物流開発整備説明会について</p>	<p>① 令和4年10月15日(土)午後6時から出流原小学校体育館で行われた出流原PA周辺総合物流開発整備B～Fゾーンにかかる説明会はどのようなものでしたかお聞きします。</p>
<p>(5) 土地利用調整エリアから土地利用転換検討エリアへの変更について</p>	<p>① 佐野市産業振興基本計画において新たな産業用地創出の候補地として検討するエリアに示された出流原PAスマートICから約500m南の地域の土地利用調整エリアを土地利用転換検討エリアとすることについて見解をお聞きします。</p>